

ビジネスパスファインダー データベースにおまかせ！

【第17回】 図書館データベース Sagasokka！①

「Sagasokka！」は、子ども向けの百科事典オンライン検索サービスです。小牧市中央図書館1階の児童エリアのデータベース端末機から検索ツールとしてご利用いただけます。子どもに検索してもらいやすいよう、やさしく見やすい画面になっており、ここから調べたいことを探していきます。今回は基本的な使用方法や特徴などをご紹介します。



◆Sagasokka！とは◆ ポブラ社発行「総合百科事典ポブラディア」を中心としたこどものためのレファレンス資料をデジタル化し、オンラインで提供する調べ学習応援サービスです。2006年から2021年まで提供されたインターネット百科事典「ポブラディアネット」の後継サービスとして、2022年から始めました。

1. 基本の検索方法

- 「Sagasokka！」トップ画面最上段の「**検索ボックス**」に調べたいワードを入れ、レンズボタンをクリックします。
- ポブラディア百科事典からの情報を主とした説明文が表示されます。



Sagasokka！端末機(中央図書館1階 児童エリア)
※予約不要

3. Sagasokka！の特徴

- 子ども向けデータベースである「Sagasokka！」は、検索方法や結果表示は子どもにもわかりやすく設計されていますが、オンラインならではの情報の速さと、百科事典をベースにした豊富な情報量は大人にも使いごたえのあるものとなっています。
- トップ画面には「今日は何の日？」「ポブラものしりクイズ」など子ども達の興味を引くコンテンツが並び、子ども達がデータベースを使って調べることになじみやすくなっています。
- トップ画面の最上段右側には「使い方ガイド」のアイコンがあり、さまざまな「使い方」の項目にジャンプできます。子どもが迷った時も自分で解決策を見つけられるよう工夫されています。

2. Sagasokka！独自の検索方法

Sagasokka！には5種類の検索方法があります。
・トップ画面から「**検索メニュー**」を開きます。

- 「**検索メニュー**」に以下のカテゴリーが表示されます。いずれかを選び、目的の情報を検索していきます。

①**画像・資料で検索**
画像、動画、音声、地図、統計、年表を探することができます。

②**テーマで検索**
「日本の歴史」「芸術」「宇宙・天文学」などのテーマ項目が一覧になっており、気になる項目を選択するだけで検索することができます。

③**NDCで検索**
NDCとは日本十進分類法のことです。分類記号3ケタと情報元である百科事典ポブラディアの項目、各テーマが関連付けられています。NDC分類から情報を探すことで、探索の糸口をより多面的な方向から考えやすくなります。

- (機能1) 3ケタの分類記号を入力すると対応するテーマ一覧が表示されます。
- (機能2) 画面上「NDC一覧」アイコンをクリックすると、全ての分類記号と対応するテーマが一覧で表示されます。
- (機能3) NDCの10個の大区分を「10賢人」というキャラクターで表示。一つ選べばその区分中の分類記号と対応テーマが表示されます。

④**授業で使える項目セット**
画面上に「SDGs」「日本の文化」「防災」などのテーマが既に設置されており、一つテーマを選ぶと周辺関連事項もリストアップされるので、併せてこれらを調べることができます。また今調べようというテーマがどの教科の内容に該当するかアイコンで表示されます。

⑤**人物事典トップ**
ポブラディアプラス人物事典とリンクしており、4300人以上の人物情報データから検索できます。人物によっては年表の記載があり、一生の活動記録も知ることができます。

■編集後記■

政治について、これまでわからなかったことが、何かのきっかけでわかり始めると「なるほど！」と合点したり、さらに興味を持った方もいるのではないのでしょうか。今回のテーマは、どこか他人事のように感じているけれど、実は生活のすぐそばにある「政治」を取り上げました。女性総理が誕生するなど、気運が高まっている政治に目を向け、じっくりと向き合ってみてはいかがでしょうか。今号で紹介した本が皆さんの仕事や生活に役立てば幸いです。(I)

次回 70号は
令和8年2月1日
発行予定です

Business Topics Vol. 69

今こそ知りたい政治のしくみ



新政権の誕生により政界の動きが活発化する昨今、ニュースや新聞、インターネットなどを通じて、私たちはこれまで以上に多くの政治情報に触れています。情報があふれるいまだからこそ、「政治」にあらためて目を向けてみませんか。私たちの社会や生活を支える政治を学ぶのに、遅すぎるということはありません。

■ビジネス書 新刊PICK UP！

世界の一流が読んでいるビジネス書100冊

水野俊哉／著 総合法令出版
2025.8 (336/ミ)



古今東西のビジネス名著が2分で読める？
ビジネスパーソンにとってのトレーニングは読書であると考える著者が、世界の一流が読んでいるビジネス名著から100冊を選び、見開き2ページで分かりやすく、かつ鋭い視点でその本質を抽出しています。1冊2分×100冊＝3時間強の読書で、ビジネスに不可欠な知識を身につけ、思考の幅を広げる手掛かりが得られるのです。

今や知識や情報は、書籍だけでなく、動画や音声、AIメディアなど多岐にわたる手段を使い分け習得する時代です。今の時代に生きるすべての学び手を意識したという著者が選ぶ100冊、気になりませんか？

■Contents■

【表紙】ビジネス書 新刊PICKUP！
・世界の一流が読んでいる
ビジネス書100冊

【見開き特集】
今こそ知りたい政治のしくみ
・日本政治の超基本
・永田町政策マップ
・ニッポン政界語読本 単語編
・25歳からの国会
・政策図解
・図解よくわかる地方議会のしくみ
・日本国民のための明解政治学入門
・戦前日本の選挙と政党
・政務調査会と日本の政党政治
(掲載順)

【4面】ビジネスパスファインダー
データベースにおまかせ！＜第17回＞
「Sagasokka!①」

今号掲載本以外のおすすめ本も
紹介しています。

予約ができるブックリストは
こちらから⇒



2025年11月号

編集・発行
小牧市中央図書館
0568-73-9951

特集 今こそ知りたい政治のしくみ

今号掲載本の予約ができる
おすすめブックリストページ
はこちらから⇒



ちょっと
ひといは♪

KOMAKI ベストリーダー

小牧市図書館で、過去3ヶ月間中

最も多く借りられたビジネス書ベスト1をご紹介します！

新！分間マネジャー

ケン・ブランチャード／著
スペンサー・ジョンソン／著
金井壽宏／監訳 田辺希久子／訳
ダイヤモンド社

1

Think clearly

ロルフ・ドベリ／著 安原実津／訳
サンマーク出版

いまさら聞けないビジネス用語BOOK

成美堂出版編集部／編著
成美堂出版

今回は

1位が3冊！

・令和7年7月1日～令和7年9月30日集計



Web情報サイト

政治のしくみや制度に関する情報サイト

[総務省ホームページ](https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/index.html) [選挙・政治資金制度](#)

https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/index.html

選挙の基本や国政および地方選挙結果についての情報が記載されています。

[明るい選挙推進協会ホームページ](https://www.akaruisenkryo.or.jp/O7Ovarious/)

<https://www.akaruisenkryo.or.jp/O7Ovarious/>

「投票率いろいろ」のページで国政および地方選挙の投票率統計データが記載されています。

[図解でわかる政治（毎日新聞ホームページ）](https://mainichi.jp/senkyo/zukai/seiji/)

<https://mainichi.jp/senkyo/zukai/seiji/>

図や表で国会運営や選挙のことについて解説しています。

[国立国会図書館デジタル特集「史料にみる日本の近代開国から戦後政治までの軌跡」](https://www.ndl.go.jp/modern/)

<https://www.ndl.go.jp/modern/>

国立国会図書館デジタル展示のひとつです。日本の近代史における政党政治の変遷について、豊富な史料とともに詳細に解説されています。

[小牧市ホームページ 本会議・委員会等（ページID:28096）](https://www.city.komaki.aichi.jp/shigikai/honkaigiinnkai/index.html)

<https://www.city.komaki.aichi.jp/shigikai/honkaigiinnkai/index.html>

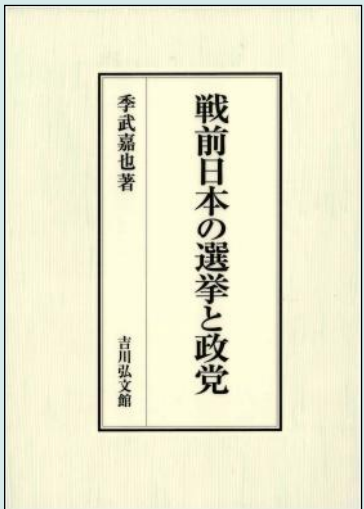
市議会や委員会の運営、議員活動報告等を確認できます。

さらに理解を深める2冊

戦前日本の選挙と政党

季武嘉也／著

吉川弘文館 2025.2 (314.8/入)



明治に入り、大日本帝国憲法が制定されて以降、議会政治が帝国議会の成立と共に始まりました。本書では明治の黎明期から大正デモクラシーを経て、第二次大戦前までの政治社会を選挙制度の実態と変遷や、地域社会との関わりについて、また代議士選出と結成されていく当時の政党について、それぞれ考察しています。各地での選挙や社会問題に関わる争議の状況なども後半で紹介され、当時の政治社会や町村地域の様子を知ることができます。現在の政治社会体制への変革に至る詳細な歴史をこの本で辿っていただきたいです。

政務調査会と日本の

政党政治

130年の軌跡

奥健太郎ほか2名／編著

末木孝典ほか5名／[著]

吉田書店 2024.4 (312.1/オ)



政務調査会という言葉をご存じでしょうか。自民党など政党内機関の一つで政調会と略されます。その役目としては主に政党政策の作成、国会提出法案審議、承認です。本書は日本の政治史研究を政務調査会の観点から紹介したもので、その目的と意義は、日本の保守政党の政調会130年の歴史を分析し、その起源や発展の転換点、連続と断絶、長期で緩慢な変化等を明らかにすることであり、議会政党内部で膨大な政策活動を行っている事象を説明する糸口を提供することであるとしています。大きな戦争や国家体制が変革していく歴史の中で、政党政治の変容の状況をいろいろな研究者の論説にてご確認下さい。

今さら聞けない日本政治の超基本 正しくニュースを理解するために

朝日新聞社／編 朝日新聞出版 2025.5 (312.1/7)

私達の日常生活は、政治と多くの接点があります。たとえば、スーパーで手に入る商品が値上がりをしていたり、普段歩いている道路に新しくガードレールが設置されていたり、お給料の明細書に記載されている所得税の金額が増えていたり。これらはすべて政治による決定に影響を受けていると、著者は述べています。本書は、「政治」についてより分かりやすく、細かい部分まで丁寧に一つずつ解説されており、ニュースでよく聞く言葉や政党、選挙についても学び直しができます。



永田町政策マップ

日本経済新聞社政治・外交グループ／編 日経BP日本経済新聞出版 2022.12 (312.1/ニ)

情報があふれ、膨大な情報の中から真偽を見分けるのが困難な現代だからこそ読んでほしい本です。日本経済新聞社の政治、外交面で連載されていた「永田町政策マップ」をまとめた本書は、永田町での政治家の回り方ガイドとも言えます。政治家について詳しくわかるという意味ではなく、政治家一人ひとりの懐に飛び込み記者たちの総力をあけて引き出した情報から、政治の背景や構造、心理を知ることができます。本書に掲載されている言葉の力強さ、情報の説得力、信頼度は、まさに日本経済新聞の原紙を読んでいるかのように出版されて2年を経た今でも熱を帯びていると感じました。



ニッポン政界語読本 単語編 ぼかし言葉から理念の骨抜き法まで

イアン・アーシー／著 太田次郎社エディタス 2024.1 (312.1/7)

ニュースなどで幾度となく耳にする政治家の発言。国会の答弁や記者への回答で、はっきりしない様子にモヤモヤしたことがある人も多いのではないのでしょうか。政界で飛び交う政治家言葉を分かりやすく説明しているのが今回紹介する本です。明言を避けるのに都合の良い単語を実際の発言に基づいて解説しています。煙に巻く言葉に惑わされない知識を身に付け、発言を通して政治の世界を見極めていきましょう。本書「単語編」の姉妹本「会話編」も併せて読むと、政治家の発言に対する知識がより深まります。



25歳からの国会 武器としての議会政治入門

平河エリ／著 現代書館 2021.7 (314.1/t)

国会や政治の仕組みに対して「なぜ？」と思っても調べる機会がなく、疑問を解決しないまま放置している……。その状態に心当たりのある人に読んで欲しいのがこの本です。「参議院は必要なのか」「予算はどうやって決めているのか」「世襲議員が多いのはなぜ」といった政界の基本的な疑問を取り上げ、大きく6章に分けて丁寧に説明しています。時事的な内容ではなく政策や役割の意義などを中心に書かれているため、疑問を解決しつつ基本も確認できる内容となっています。



政策図解

近藤哲朗 冲山誠／著 鈴木寛／監修 日経BP 2023.12 (312.1/3)

政治を理解するうえで欠かせない「政策」に焦点を当てた一冊です。事業創出、技術開発、教育、医療など、幅広い分野の50の政策について、図で全体像をつかみ、文章で理解が深まるよう工夫されています。専門的なテーマを共通のフォーマットで整理し可視化することは一見単純に見えますが、実は非常に難易度の高い作業です。政策という専門的で複雑な内容を誰にでも理解できる形に落とし込むために、筆者たちは実際に官僚や各省庁の担当者と何度も議論を重ねたといいます。読みやすさの裏側に政策を正しく伝えたいという静かな情熱が感じられます。



図解よくわかる地方議会のしくみ

武田正孝／著 学陽書房 2022.8 (318.4/9)

私たちの暮らしに関わりが深い地方議会の権限や役割、議事運営、議員の活動などの基本的なことから、ICT活用や議会改革など現代的な課題まで幅広く解説されています。地域の政治を学ぶことは、国全体の政治に対する理解を深めることにも繋がります。また、自治体と企業の官民連携が進む中、地域政策や議会の動向を把握することは、ビジネスの意思決定や戦略立案にも役立つに違いありません。



日本国民のための明解政治学入門

高橋洋一／著 あさ出版 2021.2 (312.1/9)

本書は国の政治の中でも、特に選挙制度や国会運営、内閣業務、国の行政と地方分権での課題などを簡潔な文章で解説しており、普段なんとなくニュースや新聞で見聞きしている出来事や課題事項がなぜそうなったのかを理解していく助けになります。有権者として、例えば選挙で投票先を決める考え方の例など行動に即反映できる項目もあり、政治により関心をもつきっかけになる本として、一度読んでいただきたいと思います。

